

家畜衛生情報

674号

東部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県東部家畜保健衛生所

西部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県西部家畜保健衛生所

2025.7.10

放牧が始まる	1
衛生害虫ハエ対策について	2
使用禁止期間が延長された 動物用医薬品	2
家畜伝染病が発生した際の 手当金交付申請について	3
飼料価格高騰経営安定緊急支援奨励金 交付のご案内（第2四半期分）	3

検査手数料等の申請・納付の 電子化について	4
検査室レポート	5
【トピックス】牛クロストリジウム・ パーフリンゲンス感染症	5
防疫情報	6
熱中症にご注意ください	6
北陸三県和牛子牛市場開催される	6
お知らせ	6

放牧が始まる



カウベルトの開牧式（黒部市阿古屋野）

阿古屋野森づくりクラブは、6月19日に黒部市阿古屋野地区でカウベルト事業として、黒毛和牛2頭の放牧を行いました。当日は梅雨時期とは思えない快晴に恵まれ、緑の木陰の元、田家保育所のゆーほー組23名が「あおきいろ」の歌を歌い、牛に名前を付けました。牛はゲートが開けられると林の中へ元気に駆けて行きました。

阿古屋野森づくりクラブは、放置される阿古屋野地区の山林を、市民が森林の働きを理解できる場所にするため、地元地区の有志がボランティアグループを結成し、整備活動を行っています。同クラブの活動の一環としてカウベルト事業を実施し、有害鳥獣対策や山林の管理など山林の保全に取り組んでいます。

放牧は6月から10月まで行われる予定です。このほか県内で数か所の放牧が予定されています。
(西部家保環境課 稲葉課長)

衛生害虫ハエ対策について

気温が高くなりハエの活動が活発になってきました。ハエの発生は地域住民からの苦情につながり、また、家畜に対してもストレスや感染症媒介の原因になります。特に吸血するサシバエは、牛伝染性リンパ腫やランピースキン病などの感染症を媒介します。冬場にはクロバエ類が高病原性鳥インフルエンザウイルスを媒介することが示唆されています。ハエ対策は伝染病防疫対策としても重要であり、年間を通して対策を行いましょう。

主な防除方法

<環境的防除>環境を整備することでハエの発生を抑制

畜舎内の除糞、飼槽や給水カップの掃除によりハエや幼虫の餌となる糞や飼料残さを取り除きましょう。また、堆肥舎で良質な堆肥の生産による発酵熱でハエの卵や幼虫を死滅させましょう。

<物理的防除>防虫ネット、電撃殺虫器、ハエ取り紙や捕虫器による防除

薬剤を使わず、家畜や人体への毒性がないため、安全安心な防除法です。

<化学的防除>誘引剤、殺虫剤や発育阻害剤などの薬剤による防除

ハエの餌に誘引殺虫剤を混合するベイト剤や幼虫をターゲットとした IGR 剤、畜体に散布する殺虫・忌避剤などいろいろな種類の薬剤があります。畜体に散布する薬剤は、用法、用量及び休薬期間を添付文書で確認してください。また、系統の異なる薬剤を使用することでハエの薬剤耐性を回避できます。

薬剤	特徴	対象
IGR剤	幼虫の脱皮を阻害し、ハエの発生を抑える。残効性がある。人や家畜への安全性が高い。高価。(例) ネポレックス、デミリン水和剤など	幼虫
ピレスロイド系	即効性に優れるが、残効性がない。人や家畜への毒性は比較的低い。(例) E T B乳剤、バイオフライ、スパレン乳剤 など	幼・成虫
有機リン系	殺虫力は強いが、人や家畜に毒性がある。耐性ができやすい。安価。(例) ネグホン、スミチオン、トヨダン乳剤 など	幼・成虫
カーバメイト系	有機リン系と同様の作用がある。ゆるやかに作用する。(例) ボルホ、サンマコー など	幼・成虫

(西部家保環境課 稲葉課長)

使用禁止期間が延長された動物用医薬品

動物用医薬品及び医薬品の使用的規制に関する省令の一部が改正され、令和7年5月30日より牛におけるフロルフェニコールを有効成分とする飼料添加剤の休薬期間が延長されました。従前より大幅に延長されましたのでご注意願います。

医薬品	使用対象動物	使用禁止期間		製品の名称 (製造販売会社名)
		(改正前)	(令和7年5月30日以降)	
フロルフェニコールを有効成分とする飼料添加剤	牛(生後3月を超えるものを除く。)	食用に供するためにと殺する前4日間	食用に供するためにと殺する前20日間	フロロコール2%液 (MSDアニマルヘルス株式会社)

富山県のHPに掲載しています「畜産農家のポジティブリスト制度～畜産現場での対応についてQ&A～」を参考にしてください。

ポジティブリスト制度：動物用医薬品が畜産物に残留しないようにするための適切な使用とその使用記録・書類を保管



畜産農家のポジティブリスト制度 (PDF)

(西部家保指導課 稲垣主任専門員)

家畜伝染病が発生した際の手当金交付申請について

畜産農場において、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱、口蹄疫等が発生した際、家畜伝染病のまん延防止を図るため、家畜伝染病予防法に基づき患畜・疑似患畜の殺処分、家畜の移動制限等の措置がとられます。このような場合には、発生農場の畜産経営を支援するため、国が手当金及び特別手当金合わせて、評価額全額を交付します。また、予防的に殺処分された家畜に対しても補償金等が交付されます。

一方で、以下のような家畜伝染病の発生又はまん延を防止するために必要な措置を講じなかった発生農場に対しては、手当金及び特別手当金の全部又は一部を交付せず、又は返還させることとされています。減額率に上限はありません。

<主な減額理由>

① 飼養衛生管理基準の遵守状況

- ・衛生管理区域専用の衣服・靴の着用等の交差汚染防止対策の不徹底
- ・衛生管理区域に乗り入れた車の車内における交差汚染防止対策の不徹底
- ・畜舎出入りする際の手指消毒の不徹底
- ・畜舎に重機・一輪車等を持ち込む際の消毒の不徹底

② 早期通報の実施状況

- ・死亡頭数の増加などの異常が確認されていたにもかかわらず、家畜保健衛生所への通報が遅延

③ まん延防止への協力等の状況

- ・早期発見・まん延防止のために家畜保健衛生所が要求する報告に対して、虚偽の報告を実施

生産者のみなさまにおかれましては、飼養衛生管理基準の遵守徹底をはじめとする、発生予防対策に取り組んでいただくとともに、万が一家畜伝染病が発生した際は、速やかに手当金等の交付を受けるために、日頃から以下の伝票等情報を整理していただき、スムーズな手当金の交付手続きにご協力をお願いします。

1. 導入に要する費用が分かるもの

- ・導入日齢、導入日、品種、導入頭羽数、性別、価格が記載された伝票等

2. 生産に要する費用が分かるもの

- ・当該家畜の生産に係る伝票、およそ直近1年分
- ・飼養期間が短期間の場合は、生産に直接関係する伝票

3. 出荷に要する費用が分かるもの

- ・直近1年分の出荷に要する費用
- ・平均出荷日齢について

(農業技術課 田知主任)

飼料価格高騰経営安定緊急支援奨励金交付のご案内(第2四半期分)

県では、飼料価格等の大幅な高騰の影響を受けている生産者の皆様の経営安定を支援するため、コスト低減等の取組みを行う方を対象に、配合飼料等（4に定義するもの。以下同じ）の購入量に応じた奨励金を交付します。（令和7年7月1日～令和7年9月30日に購入した飼料）

1 奨励金交付対象者：県内の農場で畜産業を営む方（地方公共団体を除く）で、奨励金交付申請書の別紙様式のコスト低減等の取組み※を3つ以上取り組まれている方。

（※取組みの内容については、7月中に郵送でお届けする申請関係書類をご参照ください。）

2 奨励金の額：配合飼料の購入量1トンあたり定額1,400円

（予算額：16,800千円、財源：重点支援地方創生臨時交付金、県の予算額を超過した場合は、交付申請額よりも低い額での交付）

3 対象期間：令和7年7月1日～令和7年9月30日

4 奨励金額算定の対象となる配合飼料等

- ・配合飼料価格安定制度の対象となる配合飼料
- ・米及び米由来の飼料を除く穀物由来の単体飼料又は混合飼料のうち穀物由来の飼料

※いずれも対象期間中に納入されたことが確認できるもの。

5 奨励金交付申請書の提出先：広域普及指導センター（郵送又は持参）〒939-8153 富山市吉岡1124-1

6 奨励金交付申請書の受付期間：令和7年10月20日（月）から令和7年11月4日（火）まで【必着】

7 お問い合わせ先：富山県農業技術課畜産振興係 TEL 076-444-3289



(農業技術課 早苗主任)

検査手数料等の申請・納付の電子化について

～今年9月末で富山県収入証紙が廃止されます～

令和6年11月県議会で富山県収入証紙を廃止する議案が上程、可決されました。これにより令和7年9月30日に収入証紙の販売が終了、半年間の移行期間の後、令和8年4月1日以降収入証紙を使用した手数料等の納付ができなくなります。

未使用の収入証紙は、令和7年10月1日から令和12年9月30日の期間に、県に返還いただくことで券面金額を返金します。詳しくは県出納局出納課のホームページ（HP）でお知らせします。

収入証紙の代替納付方法として、クレジットカード等を用いた電子納付か窓口納付をお願いします。窓口納付は令和7年10月1日から運用されます。

富山県では申請や手数料の納付を電子化（オンライン化）することで、利便性向上や会計事務のDX推進を行っていますので、電子申請・電子納付にご協力をお願いします。

<電子申請方法>

富山県電子申請サービスHPから申請先「富山県」→「検索条件を選択」→「キーワードで絞り込む」で利用したい申請のキーワードを入力し「検索」、画面一番上の「検索条件を閉じる」→検索条件に該当する申請が表示されます。

管轄の家畜保健衛生所の申請をクリック、「手続案内」の画面一番下の「電子申請をする」→「ログインしないで申請する」又は「ログイン」から申請フォーム用URLをご自分のメールに送信し、メールから申請の手続きフォームに入ってください。

<電子納付方法>

申請内容の審査・承認後に電子納付依頼メールが送信されます。

2週間以内に電子納付依頼メールからクレジットカード又はPay-easy（富山県指定金融機関及び富山県収納代理金融機関のみ）で納付の手続を行ってください。

<窓口納付方法>

手数料納付窓口で、所定の手数料額を現金、クレジットカード（VISA、Mastercard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club、銀聯、DISCOVER）、コード決済（PayPay、d払い、楽天Pay、auPay、J-CoinPay、メルペイ）及び電子マネー（交通系電子マネー（Suica等）、WAON、楽天Edy、nanaco、QUICPay、iD）のいずれかで納付してください。納付時に発行される申請用レシートを紙の申請書に貼付して家畜保健衛生所へ提出してください。その際事前に、家畜保健衛生所担当者へ納付額を確認のうえ、納付をお願いします。間違った額で納付した場合、還付までに数か月を要することがありますのでご注意ください。

<手数料納付窓口一覧>

設置場所（予定）	
富山県庁	警察署（14か所）
免許センター富山	入善、黒部、魚津、滑川、上市、富山中央、富山南、富山西、射水、高岡、氷見、砺波、南砺、小矢部
免許センター高岡	
合計 17か所	

<申請方法と納付方法の組み合わせ>

出納課では、「電子申請と電子納付」、「紙申請と電子納付」、「紙申請と窓口納付」の3通りの申請・納付方法を想定しております。

富山県電子申請サービスHPへのアクセスは、「富山県電子申請サービス」で検索又はQRコードを読み込んでください。

電子申請方法がわからない、操作方法を教えてほしい方は家保へ相談ください。

富山県電子
申請サービス



(西部家保環境課 稲葉課長)

検査室レポート

検査実施状況

(令和7年2月26日～令和7年6月20日現在)

区分	畜種	診断名・検査名	件数	頭羽数	検体数
病性鑑定	乳用牛	牛伝染性リンパ腫(届出伝染病)と牛パスツレラ症	1	1	1
		牛コロナウイルス病	2	7	7
		牛ロタウイルス病	1	2	2
		牛パスツレラ症	1	1	1
		細菌性乳房炎	37	101	215
		その他	77	85	113
	肉用牛	牛コロナウイルス病	2	6	6
		牛コロナウイルス病と牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	1	1	1
		牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	3	3	3
		牛パスツレラ症	2	2	2
		牛マンヘミア症	1	1	1
		牛コクシジウム病	1	1	1
	豚	尿石症	1	1	1
		その他	68	121	122
		豚パスツレラ症	1	1	2
	鶏	その他	2	2	2
		その他	2	4	9
		めん羊・山羊	山羊の消化管内線虫症	2	2
	めん羊・山羊	化膿性髄膜脳炎	1	1	1
		その他	5	5	5
一般検査	牛・豚・鶏・山羊		158	859	1,553
鳥インフルエンザ検査	鶏	抗体検査	6	60	60
BSE 検査	牛	エライザ検査	5	5	5
TSE 検査	めん羊・山羊	ウェスタンブロットまたは免疫組織学的検査 (農研機構 動物衛生研究部門に依頼)	6	6	6
豚熱検査	野生いのしし	PCR 検査	15	173	173
合計			401	1,451	2,294

【トピックス】牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症

牛のクロストリジウム・パーフリンゲンス感染症(旧: 壊死性腸炎)は牛の急死疾患として知られており、その他の主な症状として血便や呼吸困難等があげられます。多くは散発性の発生ですが、時に短期間で多くの個体が発症することもあり、飼料の過給または急変時に原因菌(*Clostridium perfringens*)が腸内で異常増殖することで発生がみられます。原因菌は、土壤や河川等広く自然界に存在し健康な牛の体内にも存在しているため、全ての農場で発生する可能性があります。

県の調査では本疾病が子牛で多発した農場において敷料の全交換及び床消毒、適切な飼養密度、代用乳の適正給与等を実施したところ、疾病発生は落ち着き死亡割合が減少した事例が確認されています。こまめな農場の清掃・消毒や野生動物侵入防止対策、良質な飼料の給与等、基本的な飼養衛生管理を徹底し本病の発生を予防しましょう。

(西部家保検査課 小林主任)

防 情 報

県内の主な家畜伝染性疾病等の発生

病 名	畜種	発生月日	戸数	頭羽数	備考
牛コクシジウム病	牛	6月2日	1	1	
牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	牛	6月12日	1	1	
牛ロタウイルス病	牛	6月25日	1	2	
牛トロウイルス病	牛	6月25日、6月26日	2	4	
牛ロタウイルス病と牛トロウイルス病	牛	6月25日	1	1	
豚丹毒（届出伝染病）	豚	6月4日、6月17日、6月27日	3	3	と畜場発見
山羊のコクシジウム病	山羊	6月2日	1	1	

県内における野性いのしし豚熱 PCR 陽性事例（令和7年5月29日～7月2日検査実施分）

	発見状態	発見又は捕獲日	発見又は捕獲場所	成長区分	性別
1	捕獲	6月24日	魚津市坪野地内	成獣	雌
2	捕獲	6月29日	高岡市江道地内	成獣	雌

熱中症にご注意ください

北陸地方も梅雨に入り気温、湿度とも高い日が続いているため、熱中症の危険性が高まる季節になりました。農作業中の熱中症による死亡者は7~8月に集中しており、70代以上の高齢者が多数を占めています。

気象庁の3か月予報でも、気温は平年より高く推移し、降水量もほぼ平年並みの見込みになっています。高温下での長時間作業は、熱中症のリスクがあることから、こまめな休憩と水分・塩分補給を心がけてください。のどが渇いていなくても定期的に水分補給を行いましょう。

また、空調服やネッククーラーなど熱中症対策アイテムを積極的に活用してください。

危険な暑さが予想される場合は、環境省と気象庁から前日と当日に熱中症警戒アラートが発表されます。環境省のLINEをお友達登録することで、熱中症警戒アラートや熱中症特別警戒アラートの情報をスマートフォンで受け取れますのでご活用ください。



(西部家保環境課 稲葉課長)

北陸三県和牛子牛市場開催される

6月26日、金沢市の北陸三県家畜市場で、令和7年度第2回の北陸三県和牛子牛市場が開催されました。今回は全体で去勢99頭、雌59頭の計158頭の取引が成立、富山県からの出品牛は去勢35頭、雌15頭の計50頭の取引が成立しました。全体の取引頭数は、前回比マイナス5頭の3%減となりました。

平均価格は、去勢で569千円(4月市場578千円)、雌で535千円(同487千円)、全体では556千円(同546千円)でした。また、最高価格は去勢で738千円、雌が630千円でした。

次回の開催は令和7年8月28日(木)になります。

(西部家保環境課 稲葉課長)

☆お知らせ☆

催 事 等	期 日	場 所
畜産女性研修会	7月30日	呉羽ハイツ(富山市)

編集後記

最近は梅雨が明けたような天気ですが、気象庁の3か月予報では大陸からチベット高気圧が、東から太平洋高気圧が強く張り出し、高気圧に挟まれることから気温が高くなることが予想されています。暑さに負けないよう、バランスの取れた食事と十分な睡眠を確保しご自愛ください。

発行所 富山県東部家畜保健衛生所 https://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/

〒939-3536 富山市水橋金尾新46 電話(076)479-1106 FAX(076)479-1140

編集者 稲葉 真(富山県西部家畜保健衛生所)

○最新号は右のQRコードからいつでもご覧いただけます。

